

花と緑の
あふれる
まちづくり

岡山市連合婦人会会報

平成30年11月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 横子
岡山市中区小橋町
一三三〇
編集部〇四二八八四六八
印刷所
岡山市北区表町一四四〇
株式会社総合通信社
（株内外総合通信社）



大元幼稚園児によるオープニングの銭太鼓

1400人の長寿祝福 岡山ドームで式典や演芸

岡山市合同
敬老会



第69回岡山市合同敬老会記念式典（岡山ドーム）



オープニングにふさわしい「黒田節」を踊る婦人会有志



恒例の松山武雄さんのアコーディオンに合わせて歌う婦人会員



総踊りの備前太鼓や唄つみ唄に合わせて福あめを頂く高齢者ら

市長「健康寿命延伸願う」
平成三十年十月十一日（木）岡山ドームで市内二十五小学校区・地区から約千四百人の高齢者の皆さんが参加し、岡山市合同敬老会が開催されました。大森雅夫市長が「今日一日を楽しく過ごしてください。市を支えてくださった皆様に感謝しています。岡山市は高齢者が安全で安心して暮らしていける町づくりを推進しています。人生百年時代に、

見ごたえある舞台演技披露
式典後、ステージでは、婦人会有志が歌謡曲「瀬戸の花嫁」のフラダンスや、着物姿もあでやかに黒田節を踊りました。また大元幼稚園児は「おもちゃのチャチャチャ」の音楽に合わせて銭太鼓を披露しました。演芸二部では十一組

会長「来年も敬老会で」
市連合婦人会塩見榎子会長が「来年もまた敬老会で会いましょう」と締めくくりました。

高年齢者代表に記念品を贈呈
続いて高年齢者単身代表（岡南区・黒田治郎様、高年齢者夫妻代表（平福学区・中井雅彦・睦様）に記念品が贈呈されました。次に来賓の祝辞や祝電の披露があり、最後に高年齢者代表（清輝学区・井上務様）の心温まる謝辞がありました。

皆様の笑顔に疲れ吹っ飛ばす
今年も、平成最後の年となる記念すべき時を皆さんと過ごしました。御出席していただいた皆様が楽しみ、来てよかったと思ってくれたこと、大きな事柄やケガ等が発生しないようにとの思いが一つに集まりました。

高年齢者の元気にさびつくり
小雨の中、会場までの往復、見守り、トイレなど行き届いた配慮が感じられました。小さな蜜蜂が集めてくる花の蜜の恩恵と、たゆまぬ努力と自然の大切さを再認識させていただきました。

高年齢者の元気にさびつくり
謝辞を述べられた高年齢者代表の方の原稿には驚き、そしていい言葉でした。大黒様の「福あめ」は、幸せもたらして、嬉しくて元気に帰りました。

健康寿命の長い高齢者の皆さんでありますように」と長寿を祝福されました。

閉会しました。外は小雨模様のお天気で、会場は熱気であふれた楽しい敬老会となりました。

合婦人会・岡山市社会福祉協議会が主催しております。

担当部コメント
皆様の笑顔に疲れ吹っ飛ばす

今年も、平成最後の年となる記念すべき時を皆さんと過ごしました。

高年齢者の皆さんへのお手紙ができました。演芸の部で高年齢者の皆さんの元気に驚き、そしていい言葉でした。

ができていて安心して高年齢者の皆さんへのお手紙ができました。

養蜂場へ産地見学



山田養蜂場で製品の説明を受ける参加者

恒例の岡山市消費生活研究協議会の産地見学は平成三十年九月二十六日、梶北鏡野町の山田養蜂場（工場・農場）見学と津山城下町の城東界隈を訪ねました。

最初に訪問した山田養蜂場では、創業からのお話をお伺いしました。

現在では千六百人以上の人が世界も含め日本各地で働いていること、社会参加（カンボジアの教育支援）に力を入れていること、蜂蜜だけでなくその成分や効能を研究し人々の健康生活に取り組んでいることなど、開発された商品の多さに驚きました。

また参加された会員の方々の交流は、元気を頂き、買い物を楽しみました。参加した皆さん、ありがとうございました。

町家の白壁と格子戸、修復された箕作匠（みつくりげんぼ）の生家、時代と共に生きてきた城下町の保存、作州の人の心意気を感じました。

城東重要伝統的建物群保存地区 城下町津山の歴史とロマンの町を歩く参加者

婦人バレーボール大会開会式 (岡山市総合文化体育館)



婦人バレーボール大会

大元が福浜下し優勝

総合文化体育館 市内14チームが熱戦

平成三十年七月十六日、第四十三回婦人バレーボール大会を岡山市総合文化体育館で開催しました。

市内の十四チームが参加し熱戦が繰り広げられました。今年は酷暑でもあり初めて冷房が入り、選手の方たちも熱中症の心配もなく、実力を発揮されて

いました。

試合は大元学区と福浜学区の決勝戦となり大元学区が2-0で優勝しました。昨年は福浜学区が優勝しており、大元学区が雪辱を果たしました。

白熱の決勝戦、大元学区対福浜学区



優勝した大元チームのメンバーと塩見市連合婦人会会長(右端)と安井大元学区会長(左端)

今回は会場内の冷房が初めて入り、戦いやすかったと選手の皆さんが喜んでいました。応援した家族の方々もよい環境での勝利を共に喜んでいました。

大元学区コメント 心に残る平成最後の大会に

七月十六日、大雨と想定外の暑さの中、婦人バレーボール大会が開催されました。選手皆さんの熱い戦いを

地域活動で役立てて 高齢者や障害者のために

車椅子寄贈



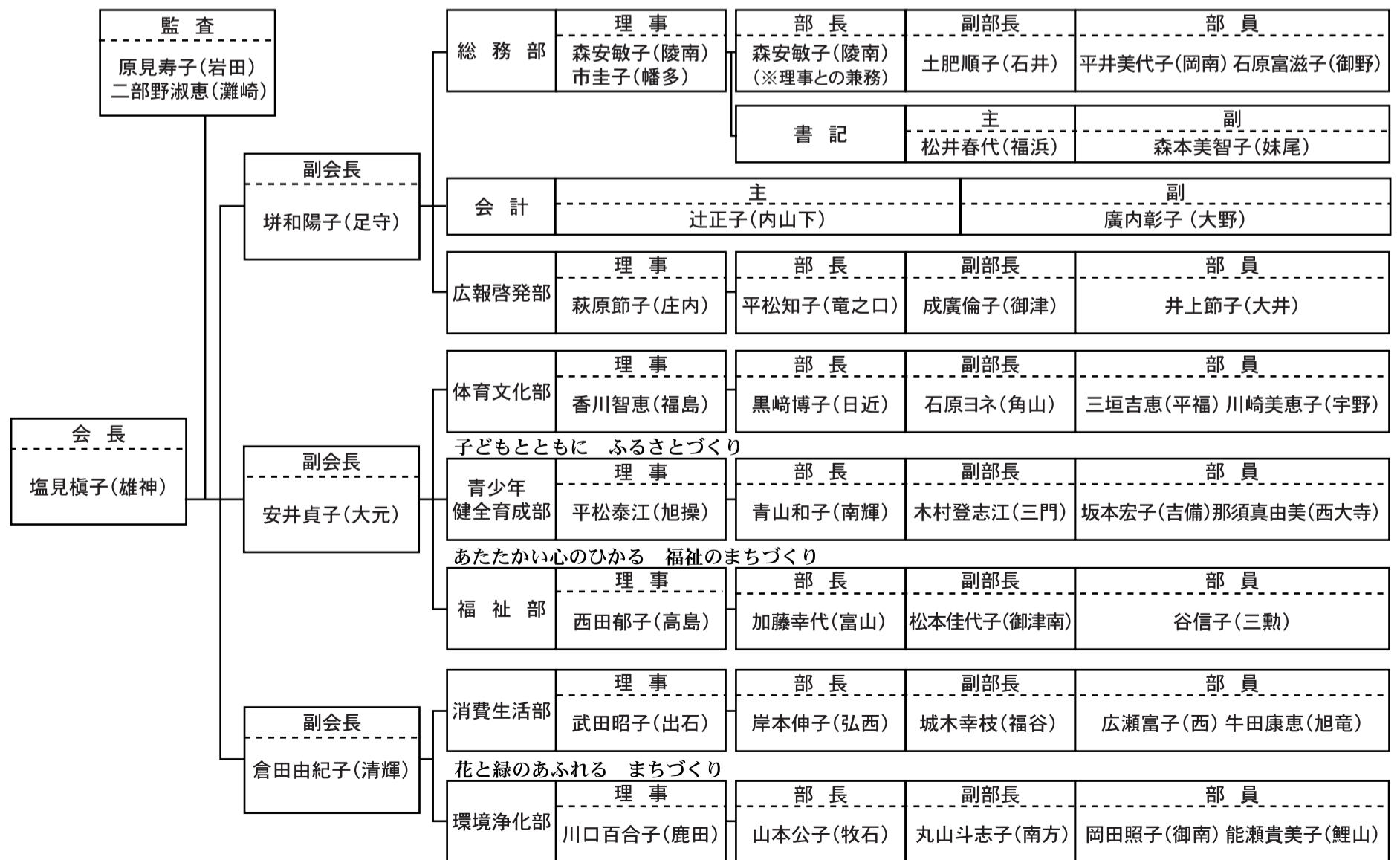
足守コミュニティハウス長門修二会長(右端)に車椅子を贈呈する塩見会長と役員

岡山市連合婦人会では、活動の一つとして

毎年車椅子の寄贈をしており、今年度は足守コミュニティハウスに寄贈しました。

塩見会長は「高齢者や障害者のために有効に活用していただきたい」と車椅子を贈りました。長門会長は「地域イベント等外出する機会が少ない高齢者の皆さんのために活用します」と謝辞を述べられました。婦人会員等が二〇〇五年度よりプルタブを集め、その収益金で二〇〇七年度から車椅子を寄贈し、十二年間で四十台となりました。

岡山市連合婦人会運営体制図



会長研修

人・町づくり推進へ 福山市女性連絡協と交流



交流会に参加した福山・岡山の皆さん（福山エフピコルーム）

会長研修が平成三十年七月五・六日に広島県福山市・尾道市で行われました。

雨の中、学区・地区婦人会長三十三人がバス一台で出発。会長研修は学習や情報交換を行うことで、心のかよ「人づくり」「まちづくり」の推進を目的としています。

一日目は、福山エフピコI Mで福山市女性連絡協議会（八人）との交流でした。交換会では福山の石川紀子会長と岡山の塩見慎子会長の挨拶が始まり、両会の活動概要について岡山市連合婦人会は年間行事、各部の活動、敬老会について報告し

ました。福山市女性連絡協議会では「ばらのまち福山」に協賛、子どもの「綿菓子作り」や「ロズパレード」に参加したり、人権・平和学習として全員が折り鶴を折って慰霊碑に献納する等の活動をしていくそうです。役員が高齢化し後継者不足で悩んでいるが、「女性の会」を立ち上げて、町づくりは若い人の多い「女性の会」に協力し活動を始めていくという前向きな報告がありました。

その後、五班に分かれたグループワークでは活発な意見交換があり、福山市の活動について状況がよくわかり参考になりました。予定の三寺見学は雨のため中止し、平山郁夫美術館で美術鑑賞をしました。

二日目は、八時三十分から評議員会での大雨警報が出たので、竹原市町並み保存地区の視察を中止し、「世羅ゆり園」に行きました。日本最大のゆり園は何万本という黄赤白ピンク等いろいろな愛らしい彩りのゆり

が咲き乱れ、あたり一面はゆりの香でいっぱい、心とむむとときどき予定を切り上げ、帰途に就きました。激しく降り続く雨の中、バスの中から真備町小田川がすさまじい勢いで

流れている濁流に恐怖を覚えました。道路は渋滞し、高速道路も通行止めでJRも運転中止となり、あちこちで道路冠水の情報も入りましました。岡山は晴れの国のはずが豪雨！まさか！今後は防災について意識の見直しをして、行動することを教訓にこれも今回の研修の一つになったと感じました。全責無事帰宅しました。

頂戴しました。岡山と福山の共通点として人口減少、高齢化、後継者不足の問題はありますが、情報とサービスを得て一体感を味わう岡山の婦人会、福山の女性会活動は前向きに取り組んでいます。町内会と婦人会（女性会）の無い人はいないし、は車の両輪として、実際は、長くて六秒なので、六秒待つという感情のコントロールを進めていっていいです。怒りは自分の中にある「くするべき」「で

雨の中、見事な百合の花を堪能する参加者（世羅ゆり園）



グループワークで活発に意見交換し盛り上がる参加者

今年度の演題は「リーダーに必要な感情コントロール」で、講師は日本アンガーマネジメント協会中国四国支部長であり、Y.S オフィス代表の川上陽子氏でした。

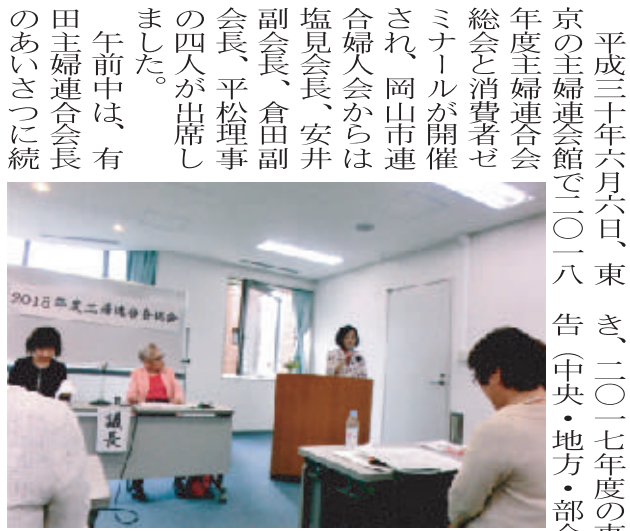
共に町づくりの 実行部隊に

今年度の演題は「リーダーに必要な感情コントロール」で、講師は日本アンガーマネジメント協会中国四国支部長であり、Y.S オフィス代表の川上陽子氏でした。

怒りか怒らないかの判断の基準は①許せる②まあ許せる③許せないに分けて、②と③の許容量、境界線を緩やかにすることは、特にリーダーには求めら

憲法の在り方考える 塩見会長ら役員4人参加

平成三十年六月六日、東京、二〇一七年度の事業報告の主婦連合会館で二〇一八 告(中央・地方・部会)が年度主婦連合会総会と消費者ゼミナールが開催され、岡山市連合婦人会からは塩見会長、安井副会長、倉田副会長、平松理事の四人が出席しました。



総会で活動報告する塩見会長（東京・主婦連合会館）

なされ、塩見会長が岡山市連合婦人会の活動を報告しました。会計報告、監査報告、規約審議が承認されました。次に、二〇一八年度の事業案、予算案、運動方針、消費者の権利を確立し、命とくらしを守る社会をめざしますが承認されて総会は閉会いたしました。

主婦連合会・消費者ゼミナール参加者



午後第六十二回消費者ゼミナールは、講師・前川喜平氏（前文部科学省事務次官）が「憲法と私」国民の権利を守るためにこそ政府がある」という演題で講演がありました。

憲法の基本精神、自由・平等・博愛は仏教の教えに通じる。憲法は国民が作り、

公務員が守る。法律は国家が作り、国民が守る。人権は、国家や憲法以前に存するものである。行政は「人間の人間による人間のための行政」でなければならぬ。公務員は、全体の奉仕者であり、一部の奉仕者であると感じました。

開始した道徳教育については、全体評価より個人評価のほうがいいのではないかなど、思いを語られ、学生時代には「人生はいかに歩むか」ということを考えながら学んだ」と話されました。そこに、人としての偉さがあると感じました。

婦人リーダー養成研修会

怒りの制御法学ぶ 川上陽子氏が講演

婦人リーダー養成研修会が平成三十年六月二十五日(月)、岡山市中区桑野ふれあいセンターで会員約三百人が参加し開催されました。

講師はかつて中学校で教鞭をとられていたそうだが、現代人の抱える心の悩みに基づき研究を重ね「アンガーマネジメント」の第一人者」になられたそうです。



感謝を込めて閉会のあいさつをする塩見会長

自分を傷つけず、物を壊さず、上手に今、怒っているのと表現できるようにする。

怒りの感情って何？人間にとって自然な感情の一つです。怒りを断ち切るのとができると思いき、励まされ、コメントされました。

地域のリーダーとして、これからの活動に生かしていける意義ある研修会でした。

三徳園周辺を散策

緑のハイキング 矢野講堂で寄せ植えも

平成三十年十月四日、うす曇りで快適で(木)緑のハイキングした。岡山市東区竹原の三徳園に集合して、芝生が近づいているため、広場で開会式を行いました。



ハイキング出発前に三徳園・芝生広場で参加者全員で集合写真

その後両備ヘルシーケアの職員から、ウォーキングの基本姿勢や背中の柔軟性を保つことが大切なことを教えてもらいました。また、消火器が用意されておりましたが、人の頭の重さは、消火器の重さ四倍と同じくらいあり、身体能力が落ちてくると、体が前に倒れて、転びやすくなってしまおうということでした。実際に消火器を持って重さを体験しました。



園地を囲む、探鳥歩道を元気に歩く参加者

参加者九十人は三徳園を出発して、周辺三キロを歩きました。その後、矢野講堂に移動して三十二人が寄せ植えをしました。

砂川には増水の跡が見られました。郷土樹木園には県内に自生するいろいろな樹木が自然に近い形で植えてありました。桜の葉は少し色づいてきていました。ポタン園もありましたが、今年の夏の暑さで、弱っているように見えました。

芝生広場に帰って来て、閉会式があり、みんな完歩証をいただき思い思いの場所に腰を下ろしてお弁当にしました。

ランタナ、キキョウ、ナデシコ、アキランサスの五種類の花と鉢床土(ろ石、肥料、培養土がちゃんと用意されています)が、苗と苗の間に空間があると、根が伸びていかなないので、ちゃんと土を詰めるように、と



ハイキング出発前に準備体操

か、自分の家の置き場をを考えて、苗を配置するように、などの説明がありました。水やりは、土が少し乾いてからやるように。植物は少々ストレスを与えたくは良かったです。水やたほうが良く育つとのことでした。

平成30年7月西日本豪雨災害 日赤へ義援金寄託



平成30年7月豪雨災害の義援金を日赤岡山支部に寄託する塩見会長ら

岡山市連合婦人は、平成30年7月豪雨災害の義援金を、平成三十年七月二十六日、日本赤十字社岡山県支部(支部長・伊原木隆太)で、豊田ひとみ

事務局長に会長・副会長で義援金を寄託しました。塩見会長より次のような言葉が添えられました。

平成30年7月豪雨は、西日本を中心とする十一府県に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様からのお見舞いを申し上げます。岡山市連合婦人会では、被災者の皆様にいち早く役立てて頂くために七月二十六日、日本赤十字社岡山県支部へ義援金五百五十二万二千五百五十二円を寄託しました。百五十万円は「愛の募金」を原資として平成十七年に設立した「被災地域緊急援助基金」から、そして二百二十五万五千二百二十五円は七月十六日開催の婦人バレーボール大会での募金と合わせ

編集後記 笑顔と思いやり持ち

今夏の酷暑、水害、台風、地震、私事と息づく間もなくやってくる災難に、心身共に絶え絶えになっているとき、敬愛する女優樹木希林さんの訃報を知りました。どんな事態も受け入れ、我が身の糧とする生き様からは、勇気を頂いていました。

学区の婦人会員として、何かをと思い学区敬老会を計画しましたが、台風24号の直撃で中止となり、酷暑の中の準備努力も、充実感の無いものに終わりました。笑顔とお互いの思いやりがあったこそ明日への元氣と希望につながるもの。あしたはあしたの優しい風が吹くのを待ちましよう。新しい元号の年の幸運を祈っています。

親子ガーデニング教室 空中植物で壁飾り制作

親子ガーデニング教室

平成三十年七月二十五日、庄内コミュニティハウスで庄内学区学童保育の児童等二十五人が夏休み恒例の親子ガーデニング教室をしました。



熱心に絵付けをする児童と見守る婦人会員

マジックやカラーペンで描きました。思い思いの絵がかけて、友達同士で描きあいました。ボードが完成したらワイヤーでエアープランツをとめます。まるで空中に生えているようにです。



出来上がった作品を手に参加者全員でハイ・ポーズ

育てられる、光合成をするので肥料はほとんどいらない。ミスディング(週一〜二回吹きかけ水をあげて二回ペースに水をためて一〜二時間つけ取り出して水をよく切る)を忘れないようにすれば、不思議な花が咲くそうです。来年の親子ガーデニングでハイ・ポーズ

婦人会員と児童が「一生懸命描いた絵がエアープランツとよく合っているね」「ありがとう」と嬉しそうに話していました。夏休みの楽しい思い出になることでしょう。エアープランツとは、約二千五百種類あるアナナス科の中のチランジア属の植物をまとめてエアープランツと呼びます。木の枝や岩などにくっついて、まるで空中で生育しているような感じがすることから「エアープランツ」(空中植物)と名前が付けられました。